

令和3年第4回士別市議会定例会会議録（第5号）

令和3年12月17日（金曜日）

午前10時00分開議

午前10時23分閉会

本日の会議事件

開議宣告

諸般の報告

- 日程第 1 議案第 121号 令和3年度士別市一般会計補正予算（第10号）
- 日程第 2 議案第 122号 令和3年度士別市病院事業会計補正予算（第4号）
- 日程第 3 意見書案第13号 コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書
について
意見書案第14号 中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求
める意見書について
意見書案第15号 燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や運用変更に関する意見
書について
- 日程第 4 決議案第 1号 水田活用の直接支払交付金の見直しによる本市農業への影響緩
和を求め地域経済を守りぬく決議について

閉会宣告

出席議員（17名）

副議長	1番	井上久嗣君	2番	中山義隆君
	3番	苔口千笑君	4番	真保誠君
	5番	奥山かおり君	6番	西川剛君
	7番	十河剛志君	8番	佐藤正君
	9番	谷守君	10番	村上緑一君
	11番	丹正臣君	12番	国忠崇史君
	13番	喜多武彦君	14番	大西陽君
	15番	谷口隆徳君	16番	山居忠彰君
議長	17番	遠山昭二君		

出席説明員

市長 渡辺英次君 副市長 法邑和浩君

総務部長	中 舘 佳 嗣 君	市民自治部長	藪 中 晃 宏 君
健康福祉部長	田 中 寿 幸 君	経 済 部 長	鴻 野 弘 志 君
建設水道部長	千 葉 靖 紀 君		

教 育 委 員 会 長	中 峰 寿 彰 君	教 育 委 員 会 長	三 上 正 洋 君
教 育		生 涯 学 習 部 長	

病 院 事 業 者	三 好 信 之 君	経 営 管 理 部 長	東 川 晃 宏 君
副 管 理			

農 業 委 員 会 長	保 科 隆 志 君	農 業 委 員 会 長	林 秀 忠 君
農 会		事 務 局	

監 査 委 員	浅 利 知 充 君	監 査 委 員 会 長	岡 崎 忠 幸 君
		事 務 局	

事務局出席者

議 会 事 務 局 長	穴 田 義 文 君	議 会 事 務 局 長	岡 崎 浩 章 君
議 会 事 務 局 査	中 井 聖 子 君	議 会 事 務 局 査	駒 井 靖 亮 君
議 会 総 務 課 主 査		議 会 総 務 課 主 査	

(午前10時00分開議)

○議長(遠山昭二君) ただいまの出席議員は全員であります。

これより本日の会議を開きます。

○議長(遠山昭二君) ここで事務局長より諸般の報告をいたします。

○議会事務局長(穴田義文君) 御報告申し上げます。

本日の議事日程及び諸報告については、配信のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

(朗読を経ないが掲載する)

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

議案第121号 令和3年度士別市一般会計補正予算(第10号)

議案第122号 令和3年度士別市病院事業会計補正予算(第4号)

2. 議員から送付された議案は次のとおりである。

決議案第1号 水田活用の直接支払交付金の見直しによる本市農業への影響緩和を求め地域経済を守りぬく決議について

3. 議会運営委員会から送付された議案は次のとおりである。

意見書案第13号 コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書について

意見書案第14号 中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書について

意見書案第15号 燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や運用変更に関する意見書について
以上報告する

令和3年12月17日

士別市議会議長 遠山昭二

○議長(遠山昭二君) それでは、これより議事に入ります。

日程第1、議案第121号 令和3年度士別市一般会計補正予算(第10号)を議題に供します。
提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長(法邑和浩君)(登壇) ただいま議題となりました議案第121号 令和3年度士別市一般会計補正予算(第10号)について、その概要を御説明申し上げます。

本補正は、地方創生臨時交付金を活用した事業の執行状況等を踏まえ、追加対策として行う事業など、当面の予算措置を要するものについて所要の補正を行うもので、以下、その主な内容について御説明申し上げます。

初めに、総務費における児童福祉施設等環境整備事業費では、コロナ禍における園児や保育

士のマスク着用時の熱中症を予防し、適正な室温を維持するため、空調設備の設置工事費1,707万2,000円を計上しました。

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費では、現在臨時国会において審議中の子育て世帯への臨時特別給付金に関連し、12月15日付で内閣府からクーポンを使わず現金で給付することを可能とする通知があり、これを受けて本市においてはクーポン事業分についても現金給付で実施するものとし、12月23日に中学生以下の対象者に対する10万円の現金一括給付を行い、高校生及び公務員世帯等に対しても年明け以降速やかに現金10万円を一括で給付する方針としたところです。

これにより、本定例会冒頭で予算措置した中学生以下に対する5万円の現金給付分に引き続き、残りの高校生分とクーポン事業分の臨時特別給付金1億2,090万円及びこれに要する事務費72万6,000円、合わせて1億2,162万6,000円を追加計上しました。

同じく臨時国会で審議中の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費では、令和3年度分の住民税が非課税である世帯及びこれと同様の状態にあると認められる家計急変世帯に対し1世帯当たり10万円の現金を給付するもので、年度内の給付開始に向けた事前準備等に要する事務費638万3,000円を計上しました。

なお、国から要綱等が示された後に、本事業の給付金等の追加補正と財政調整基金から国庫支出金への財源振替について改めて上程する考えです。

感染症対策等の学校教育活動継続支援事業費では、国の追加配分が決定されたことから、小・中学校及び高校における感染防止対策や学習保障に必要な物品等の購入費260万円を計上しました。

一方で、第3回定例会で措置した経営持続化応援金事業費について、見込みを下回る給付実績となったことから1,707万2,000円を減額したところです。

なお、これらに要する財源については、国庫支出金の特定財源のほか財政調整基金の一般財源をもって収支の均衡を図った次第です。

次に、債務負担行為の補正についてです。

この夏の高温干ばつの影響により被害を受けた農業者に対する農業経営緊急支援資金として、北ひびき農業協同組合が再生産資金の利子補給を令和8年度までの5か年間実施するに当たり、本市としても同様の措置を講ずるため、債務負担行為を追加するものです。

以上、今回の補正の概要について申し上げます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（遠山昭二君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。村上緑一議員。

○10番（村上緑一君） 今の子育て世帯への臨時特別給付金給付事業について伺いたいと思います。

国会でも結構金額的には紛糾した中で議論が尽くされてきたわけですが、士別市の方

向性として、報道機関より早くから給付事業には参加の意向を伺っておりますけれども、ここまで至った、時期的に、この10万円給付に至った、決断した時期をお聞きすると、あとは、今のコロナ禍で子育て世帯が大変苦しんでいる。また、これから子育てへの、新入学、卒業もありますけれども、いろんな形でお金のかかる時期ですけれども、この給付金を市長はどのように使っていただきたい、そういう思いも含めた中でちょっとお聞きしたいところです。

○議長（遠山昭二君） 渡辺市長。

○市長（渡辺英次君） 村上議員の質問にお答えいたします。

まず、この給付事業におきまして、今お話にあったとおり、今回10万円を一括給付ということで上程をさせていただきました。ただいま、決断した時期はいつ頃だったのかということでしたが、御承知のとおり、今回予算委員会において国会のほうでも話が二転三転しているという状況がありまして、正直なところ申し上げますと、地方自治体としては国会の決まり方によって振り回されているという、そういった感じは受けながら、常に国会のほうの様子を拝聴しておりました。

最終的には、ただいま提案説明でもお話ししましたとおり、12月15日、一昨日の夕方に内閣府から通知が来まして、その通知が来た段階で、まず私は担当部署に、一括給付に対しての事務事業的に人手も含めて間に合うかと、そのようなことを確認いたしました。そして、確認したところ、正直大変ではあるのですが間に合うというお返事いただきましたので、それでは士別市については一括で給付しようということで、一昨日夕方、来た段階で判断いたしました。

それから、もう1点なんです、今回報道等を見ていると、クーポン券なのか現金なのかということで様々な議論もありましたし、あとは一般の国民の方の街頭でインタビューみたいなものもありました。それを見ている限りでは、今回に関してはクーポン券は基本的に、ほぼ賛同している人がいないなと感じたのが実態であります。本定例会において国忠議員からも質問ございましたが、地域通貨という観点で見ると、クーポン券は、確かにお話のとおり、お金じゃありませんので、全ての店で使えない、そしてお金のようにならなくても貯金できない、そういったことがあります。今回の一番のメインの政策の目的は、村上議員から今話があったとおり、子育て世帯に対する支援です。新学期に向けての支援ということになります。ですので、その段階でもうある程度期限というのは決められているようなものだと思うんです。そういった意味では、特にこういう田舎のほうになるとなかなか使えるお店が少なくなりますので、特に村とか小さい町になると使えるところがないということで課題が多うございますので、今回は一括現金が正しいだろうと思っております。

ただ、これから私が考えている地域通貨に関しては、経済対策という観点で考えておりますので、確かに使用制限はできます。しかし、いつまでにこのぐらいの通貨を回したいんだという部分では地域通貨という概念はあり得るものだろうとは考えております。

それから、もう1点、どのように使っていただきたいかということですが、ただいまお話ししたとおり、目的は子育て、つまり子供のためのお金だと思っております。ですので、今回は

用途の、私のほうからお願いというか、要望ともならないと思いますが、今回に関しては子供たちのものに使っていただきたいと思います。物でもサービスでもいいと思いますけれども、できればそういったものに使ってもらえればと思っております。

以上です。

○議長（遠山昭二君） 法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君） 私の先ほどの補正予算の提案説明の中で、ちょっと間違いがありましたので、訂正をお願いしたいと思います。

感染症対策等の学校教育活動継続支援事業費の部分で、学習保障に必要な物品等の購入費260万円と申し上げましたが、正しくは130万円の誤りでありますので、訂正をよろしくお願ひします。

○議長（遠山昭二君） ほかに御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第121号は原案のとおり可決されました。

○議長（遠山昭二君） 次に、日程第2、議案第122号 令和3年度士別市病院事業会計補正予算（第4号）を議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君）（登壇） ただいま議題となりました議案第122号 令和3年度士別市病院事業会計補正予算（第4号）について、その概要を御説明申し上げます。

本補正は、令和4年度に導入を計画している電子カルテシステムについて、世界的な半導体不足による機器調達の遅れが生じていることから、事前に契約することにより機器の早期確保を図り、円滑な導入を進めるため、4億9,193万1,000円を限度に債務負担行為を追加するものであります。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（遠山昭二君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第122号は原案のとおり可決されました。

○議長（遠山昭二君） 次に、日程第3、意見書案第13号 コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書について、意見書案第14号 中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書について、及び意見書案第15号 燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や運用変更に関する意見書について、以上3案件を一括議題に供します。

本案については、提案者の説明を省略いたします。

質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） 御異議なしと認めます。

よって、意見書案第13号から意見書案第15号までの3案件は原案のとおり可決されました。

○議長（遠山昭二君） 次に、日程第4、決議案第1号 水田活用の直接支払交付金の見直しによる本市農業への影響緩和を求め地域経済を守りぬく決議についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。大西 陽議員。

○14番（大西 陽君）（登壇） ただいま議題となりました決議案第1号 水田活用の直接支払交付金の見直しによる本市農業への影響緩和を求め地域経済を守りぬく決議について、決議文の朗読をもって提案理由に代えさせていただきたいと思っております。

この問題は今定例会の一般質問でも丹議員が問題提起をして取り上げておられました。また、中山議員も危機感を持ってこの問題に触れられておりました。さらに、今週13日に本市を含む1市2町のそれぞれの首長とJA北ひびきの代表理事組合長、さらには、てしおがわ土地改良区の理事長が道内選出国會議員及び農林水産省に対して緊急要請を行った経過がございます。

それでは、決議文を朗読いたします。

水田活用の直接支払交付金の見直しによる本市農業への影響緩和を求め地域経済を守りぬく決議。

北海道の食料自給率は、令和元年度に216%を示すなど、我が国の食料供給基地であり、その中でも本市は、水稻、小麦、大豆、てん菜、バレイショなどをはじめとする耕種農業と酪農・畜産農業も合わせ幅広い農業を展開、この間、米政策等農政の転換や、農業経営者の減少など様々な課題に対しても、経営の大規模化、機械化など投資も含めたその時々経営変更により、地域農業を維持し、今なお食料供給基地の一翼を担っております。

この度、来年度の水田活用の直接支払交付金において、長期間水張りされていない水田を交

付対象から除外するとの内容が示されました。本市では過去の減反政策に基づき、主食用米以外の作物への作付けに協力してきた経過にあり、突然交付金の対象外とすることについて、今後の経営不安と戸惑いの声も聞かれ生産現場では大きな混乱が生じております。今後の政策転換によって経営困難に陥り、荒廃地が増加するなど本市農業の崩壊への懸念のみならず、関連産業への影響等、農業を基幹産業とする本市においては地域経済への影響がいかほどか現時点で計り知れません。

士別市議会は、行政と連携し、今回の政策転換による本市農業をはじめ地域経済への影響や課題について広く市民と共有を図り、また、国に対し地域の実情に即した総合的な支援策を求めるなど、以下について推進することを決議するものです。

1、今般の政策転換が、生産活動を直接行う農業者への影響のみならず、関連産業を含めた地域経済への大きな打撃を与えるものとの認識について、行政と連携し、影響額等をはじめ課題について広く世論喚起を行うこと。

2、国に対し、来年度の水田活用の直接支払交付金に関する十分な予算確保を求めるとともに、政策転換により地域農業の生産現場に混乱が起きないように慎重な対応を求めること。

以上、決議します。

令和3年12月17日。

士別市議会。

以上申し上げ、提案理由の説明といたします。

御賛同の上、議決をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。 (降壇)

○議長(遠山昭二君) 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) 御異議なしと認めます。

よって、決議案第1号は原案のとおり可決されました。

○議長(遠山昭二君) 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

令和3年第4回定例会はこれをもって閉会いたします。

御苦労さまでした。

(午前10時23分閉会)

以上、本会議のてん末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和3年12月17日

士別市議会議長 遠山 昭二

士別市議会副議長 井上 久嗣

署名議員 奥山 かおり

〃 西川 剛

〃 十河 剛志